

感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係

電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和8年
2月号



東京都内の感染症流行情報

出典：東京都感染症情報センター「東京都感染症発生動向調査週報」

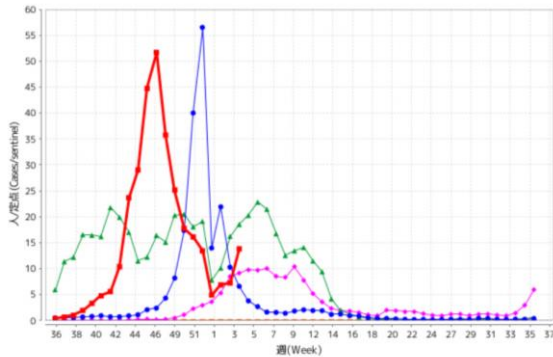
第4週（2026年1月19日から1月25日）までの患者報告数

インフルエンザ

東京都 13.83人/週（前週 7.25人/週）

墨田区 12.13人/週（前週 3.63人/週）

➡患者報告数は都内・区内ともに11月以来の増加がみられます。さらなる流行拡大の可能性があり、予防対策が重要です。



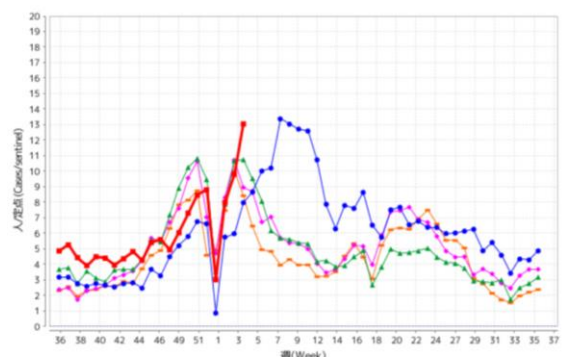
(C)2002-2026 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

感染性胃腸炎

東京都 13.05人/週（前週 9.80人/週）

墨田区 4.40人/週（前週 4.40人/週）

➡患者報告数は都内で増加しています。区内では、保育所や社会福祉施設での集団発生も報告されています。



(C)2002-2026 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

麻しん（はしか）の感染事例が報告されています

出典：厚生労働省「感染症情報 麻しん」

全国的に海外渡航後の感染、また海外渡航歴がない方の国内での感染が報告されています。推定感染地域の半数近くはベトナム、タイ、フィリピンなどの国外です。

▶ どうやって感染するの？

感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、非常に強い感染力でヒトからヒトへ感染します。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続するといわれています。

▶ どんな症状があるの？

感染すると約10日誤に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、**39℃以上の高熱と発疹**が出現します。

▶ どうやって予防・対策をするの？

手洗い・マスクのみでは予防できません。**予防接種が最も有効な予防法**といえます。麻しん含有ワクチン（麻しん風しん混合ワクチン：**MRワクチン**）を接種することで、95%程度の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができるといわれています。

また、定期接種の対象者だけではなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合やご自身の免疫が不十分なことが判明した方はワクチン接種を検討してください。



墨田区HP
「子どもの
予防接種」



厚生労働省
検疫所
FORTH



感染性胃腸炎に注意が必要です

出典：東京都感染症情報センター「感染性胃腸炎」
国立健康危機管理研究機構「感染性胃腸炎」

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。
ウイルス感染による胃腸炎が多く、**毎年秋から冬にかけて流行**します。

▶ どうやって感染するの？

原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか
細菌や寄生虫もあります。

感染経路は、**病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）**
汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。



接触感染



経口感染

▶ どんな症状があるの？



吐き気



嘔吐



下痢



腹痛



発熱



けいれん

病原体によって異なりますが、**潜伏期間は1～3日程度**です。感染源がノロウイルスなら、有症期間は**平均24～48時間**です。ロタウイルスなら**乳児ではけいれん**を起こすこともあり、有症期間は**平均5～6日**です。
感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

▶ どうやって治療するの？

特別な治療法は無く、**症状に応じた対症療法**が行われます。

乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので**早めに医療機関を受診**することが大切です。特に高齢者は、嘔吐物が気管に入る誤嚥により肺炎を起こすことがあるため、体調の変化に注意が必要です。嘔吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をするよう心がけましょう。

感染性胃腸炎の予防には手洗い・適切な消毒が重要です

出典：東京都感染症情報センター「感染性胃腸炎」
国立健康危機管理研究機構「感染性胃腸炎」

▶ 正しい手洗いを身につけましょう

トイレの後や、調理・食事の前には、**石けんと流水**で十分に手を洗いましょう。

手洗い後は、清潔なタオルや使い捨てペーパータオルで水気を拭き取って手を乾かしましょう。

東京都
保健医療局
「正しい
手洗い方法」



東京都
保健医療局
「平時から実
践する感染症
対策の基本」



▶ 便や嘔吐物の処理を適切に行いましょう

処理をする人自身が感染しないよう、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

上記のような個人防護具に加えて、拭き取るためのペーパータオル、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム、バケツなどを準備して嘔吐物処理セットとして常備しておきましょう。

東京都
保健医療局
「おう吐物の
処理方法」



▶ 適切な消毒液を使用しましょう

出典：東京都保健医療局

「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアルダイジェスト版」

ノロウイルス・ロタウイルスにはアルコールが効きません。**消毒液は次亜塩素酸ナトリウム水溶液**を使用しましょう。

環境消毒には0.02%濃度のものを、**嘔吐物や排泄物など高濃度に汚染されたものの消毒には0.1%濃度**のものを使用します。

すぐに必要な濃度の消毒液が作成できるよう、容器に印をつけるなど工夫をしておくといでしょう。

【0.02%次亜塩素酸ナトリウムの作り方】

原液の濃度が6%の場合
300倍にする

原液10ml

水3ℓに入れる

【0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方】

原液の濃度が6%の場合
60倍にする

原液50ml

水3ℓに入れる